

ロシア訪問団団長コメント



国際教養大学 理事長・学長 中嶋 嶺雄 (極東国立総合大学にて)

日本留学へ潜在性秘める極東ロシア

— 極東地域の印象は？
 今回、ロシアを視察して感じたことは、日本と極東ロシアは距離的に非常に近いということ。感覚的には、台湾や香港へ行くよりも近い感じがしました。ハバロフスクへは、1時間半ぐらいで着いてしまいます。

— 距離的なものも含めて極東

地域からの日本留学を考えると、潜在的に大きな可能性を秘めていると思います。

— 説明会などでのロシア人の様子は？

日本語学習熱が非常に高いと思えました。ロシアの人たちは日本のビジネスや文化に興味があり、日本に学ぼうという意識を強く感じました。

— 極東視察での収穫は？

今度、国際教養大学は極東国立総合大学と協定を結ぶことになりました。

— 極東視察での収穫は？

一つ課題を挙げるとすれば、言語が障壁になる可能性があることです。極東国立総合大学も含め、ロシアの大学の授業は、ほとんどロシア語で行われています。英語で授業を行われているところは、ほとんどありません。そうすると、日本からの留学生はロシア語を習得していないと、留学先で授業についていけない可能性がでてきます。

— 日本への留学生を増やすには？

最大の問題は、奨学金があるかどうかでしょう。それが留学フェアで一番聞かれました。今まで日本は、ロシアへ顔が向いていませんでした。

— 反対にロシアの対日感情は、非常に良好です。日本にはそれまでの認識を改めて、もう少し奨学金を与えるシステムを作っていくかという思いだと思います。ほかにも、入試の整備や、単位互換の問題、初等中等教育が11年という教育制度の違いなど、システム改善の問題もあります。

— 日本で私が強調したいのは、留学政策を、高度な次元の話だけではなくて、具体的な次元へと話していくことです。もちろんロシアや日本側でいろいろと考えていくことも必要です。特に、日本は留学生30万人計画を掲げていますので。しかし、ハイポリティックスよりも、ローポリティックス。つまり寮や奨学金など具体的な議論まで進めていくことが、大事だと思います。

— 日本人街があり、日本との関係は古くからありました。ハバロフスクも非常に大きな都市で、日本との関係を強化したいという意欲が感じられました。

— 説明会などでのロシア人の様子は？

日本語学習熱が非常に高いと思えました。ロシアの人たちは日本のビジネスや文化に興味があり、日本に学ぼうという意識を強く感じました。

— 極東視察での収穫は？

今度、国際教養大学は極東国立総合大学と協定を結ぶことになりました。

— 極東視察での収穫は？

一つ課題を挙げるとすれば、言語が障壁になる可能性があることです。極東国立総合大学も含め、ロシアの大学の授業は、ほとんどロシア語で行われています。英語で授業を行われているところは、ほとんどありません。そうすると、日本からの留学生はロシア語を習得していないと、留学先で授業についていけない可能性がでてきます。

— 日本への留学生を増やすには？

最大の問題は、奨学金があるかどうかでしょう。それが留学フェアで一番聞かれました。今まで日本は、ロシアへ顔が向いていませんでした。

現できていません。